





~第46回JC青年の船「とうかい号」に向け~

Q. とうかい号に乗ろうと思ったのは何故ですか?

多治見青年会議所に入会する前に、とうかい号の存在自体は知っておりましたが、その船自体がどのような内容 で、どういった団体が運営しているのかは把握していませんでした。しかし昨年、本年度の田財理事長が乗船され、 同じ委員会であった私は、その経験を一番近くで聞くことができました。そこで、とうかい号の内容、スケールの大 きさに感銘を受け、乗船を決意いたしました。

Q. とうかい号の魅力は何でしょうか?

第一に事業規模の大きさだと思います。「とうかい号」は、公益社団法人日本青年会議所東海地区協議会が主催す る事業として、今年で46回目を迎える国内最大級の研修船事業です。これまでに27,000名以上の若者が乗船 し、同世代の仲間達との出会いから始まり、未知の経験や日々繰り返される研修の中で、どんな苦難であってもたく ましく乗り越えられる強さ、そして生きる強さを培い、自分だけでは到底なし得ることの出来ない経験を肌で感じる ことができます。

Q. 一般乗船者にどうなっていただきたいですか?

研修を通して多くの気づきと一生涯の仲間を作り、下船後は継続的に企業や地域において活躍できる人材となって いただきたいです。

Q. 意気込みを教えて下さい

私は「すべては一般乗船者のために」という思いで、現在東海地区と岐阜ブロックの委員会に参加しています。一 般乗船者に素晴らしい学びの場を設営し、下船後にはそれぞれの企業で光輝く人材へと成長していただけますように 頑張ってまいります。私自身はとうかい号を通して感じたこと、学んだことをLOMに持ち帰り、培った経験を還元 していきたいです。

第46回JC青年の船「とうかい号」生活委員会 委員 丹羽亮介君

生き抜く力育成事業I(陶器まつりへの参加)を終えて

生き抜く力育成委員会は、子どもたちが大人たちから与えられることに慣れ、 自分自身で考え、失敗し、また考え、成功する喜びを体験する機会が減っている 事を背景に、子どもたちに考え、やり遂げるきっかけを与えてあげることを活動 方針として活動しております。

本事業につきましては、子どもたちに「考える力」と「やり遂げる力」を育んでも らう事を趣旨としてアトラクションを考えました。

工夫した点につきましては、議題のみを子どもたちに与え出来上がりを示す事 なく子ども達が自ら考え、やり遂げる事の出来る作品を何にするのか。もう一つ がメンバーと近所の子どもたちに参加してもらい、陶器まつりのシミュレーショ ンを行いました。実際に作品を子どもたちに当日と同条件で作成してもらいまし た。その中で、不足している物、改善すべき点を洗い出せた事が当日スムーズに 事業が行えたと感じております。

今回の事業を通して、私たちが想像していなかった発想が多数あり、子どもた ちの発想力に驚かされました。これも、参加いただいたメンバーの方が暖かく子 どもたちの発想を促すよう支えていただいた賜物だと思います。本当にありがと うございました。

生き抜く力育成委員会 副委員長 伊藤寿高君



4 J Cゴルフ・サッカー大会を終えて



4 J C ゴルフ・サッカー大会は私が J C に入会して以来、初めてのスポーツを通して他LOMと交流をする機会でした。この大会に参加する以前は、スポーツ大会は子供の運動会みたいな感じで、3 O 代 4 O 代がメインの J C のメンバーもまさか本気でスポーツはしないだろうなと思っておりました。しかし、実際サッカー大会に参加してみると各LOMの選手が本気になって点を獲りに来ていることに驚きました。私自身、選手としてフル出場しましたが、本当に大変でした。まさかサッカー試合のフル出場で命を落としかけると思いませんでしたが、日ごろの運動不足をひどく反省するきっかけにもなりました。それに対して、まわりの J C メンバーは年齢を感じさせることないプレーで点を獲っていて本当に驚きました。また、他LOMとのメンバーとスポーツ交流の中で、新たにつながりを作れた経験は、スポーツというものが人と人とをつなげるのにとても重要なツールだと改めて感じました。

年齢層もバラバラで地域もまったく異なる4JCが、スポーツを通してお互いのつながりをより一層深めることができた貴重な機会だったと思いました。

総務・渉外委員会 委員 片岡新之助君

新入会員紹介



挑戦する人材育成委員会 縮塩豪記君

勤務 先:株式会社 協和義肢製作所

特 技:野球

趣 味:読書、スポーツ観戦

休日の過ごし方:不定期な休みなので予定を入れず、思いつきで家族と旅行や地域探索をしています。平

日は朝早く夜遅いので休日は家族と一緒に居られるようにしています。

メンバーへ一言:多治見に来て6年、地域も人も歴史もまだ把握出来てない事が多いです。JC活動を通

して人との縁を築いていきたいと思っています。

第46回JC青年の船「とうかい号」LOM壮行会

新入会員ですが、思ったことは遠慮無しにぶつけていきたいと思っていますのでよろし

くお願い致します。

インフォメーション

5月31日 6月理事会議 於 産業文化センター 6月 2日 第46回JC青年の船「とうかい号」出港式 名古屋港 於 第46回JC青年の船「とうかい号」帰港式 6月 8日 於 名古屋港 6月16日~18日 済州南元JC訪韓 於 済州南元 6月20日 6月例会(とうかい号報告会) 産業文化センター

JC宣言

ジャズ イン パパズ

JCIクリード

The Creed of Junior Chamber International

We Believe:

That faith in God gives meaning and purpose to human life;

5月29日

That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;

That economic justice can best be won by free men through free enterprise;

That government should be of laws rather than of men;

That earth's great treasure lies in human personality;

and That service to humanity is the best work of life.

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り拓き 個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと協和する確かな時代を築くために 率先して行動することを宣言する

綱領

われわれ JAYCEE は 社会的・国家的・国際 的な責任を自覚し志を同じうする者、相集 い、力を合わせ青年としての英知と勇気と 情熱をもって明るい豊かな社会を築き上 げよう。

一般社団法人多治見青年会議所

[事務局] 〒507-0831 岐阜県多治見市新町 1-23 多治見市産業文化センター 4F

TEL:0572-23-5229 FAX:0572-24-0227 E-mail:info@tajimijc.com